



GitHub導入までの 道のりとこれから

みずほ証券

IT統括部
IT業務変革推進チーム

2025年9月25日

ともに挑む。ともに実る。





氏名	石村 貴則
会社	みずほ証券株式会社
所属部署	IT統括部 IT業務変革推進チーム
職務	✓ プリンシパル IT アーキテクトとしてアーキテクチャの標準化をリード ✓ 開発生産性の向上に資するテクノロジー戦略の立案と実行
現在の 取り組み	✓ アーキテクチャのガイドライン・標準策定 ✓ 新しい技術の調査、検証、実用化の推進 ✓ アプリケーション開発業務関連の自動化推進及びインフラ運用自動化の推進
経歴	✓ 2005年入社。社内ネットワークの管理業務に従事 ✓ 2015年よりインフラストラクチャ全般のアーキテクト及び自動化を推進 ✓ 2022年より部門横断的な取り組みに従事し現在に至る



氏名 古賀 翔太

会社 みずほ証券株式会社

所属部署 IT統括部 IT業務変革推進チーム

職務 ✓ IT部門の開発生産性向上に関する施策の推進

現在の ✓ GitHubの社内展開（CI/CDパイプライン構築施策）

取り組み ✓ UIテスト自動化ソリューションの社内展開

✓ 2017年よりRPA導入のITコンサルタントとして従事

✓ 2023年より現職。UIテスト自動化ソリューションの社内展開施策を担当

✓ 2024年よりCI/CDパイプライン構築施策に参画し現在に至る

ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO

みずほ証券

商号	みずほ証券株式会社
英文社名	Mizuho Securities Co., Ltd.
設立	1917年7月
主な事業	金融商品取引業
資本金	125,167百万円
従業員数	6,802名（2025年6月30日現在）
国内外ネットワーク	国内215拠点、海外21拠点

みずほ証券は、お客さまをはじめとする、すべてのステークホルダーの皆さまと「ともに挑み、ともに実る」ことで、お客さま、市場、そして社会から最も信頼され、最も必要とされる証券会社となることをめざします。

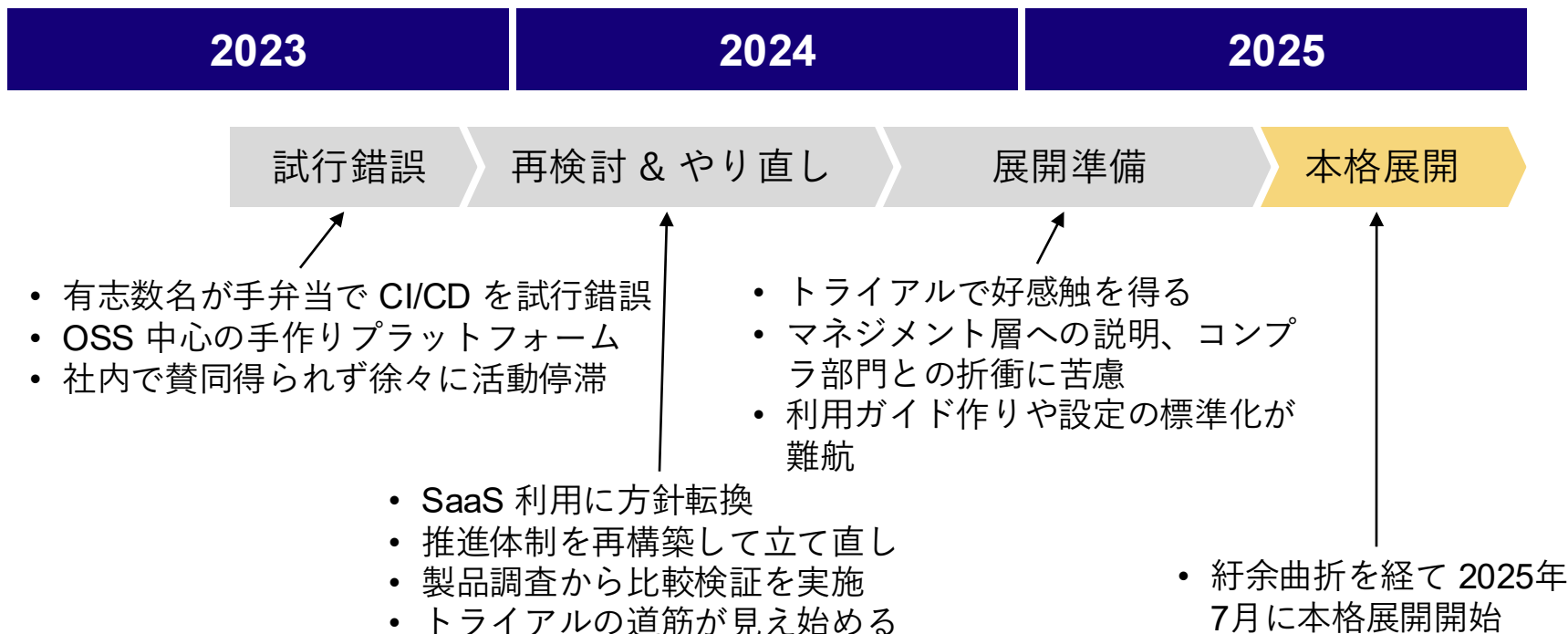
お客さまのパートナーとして、寄り添い、ともに歩み、多様化するお客さまと社会のニーズにお応えしてまいります。

1. GitHub Actions 導入の取り組みについて
2. アーキテクチャと利用イメージ



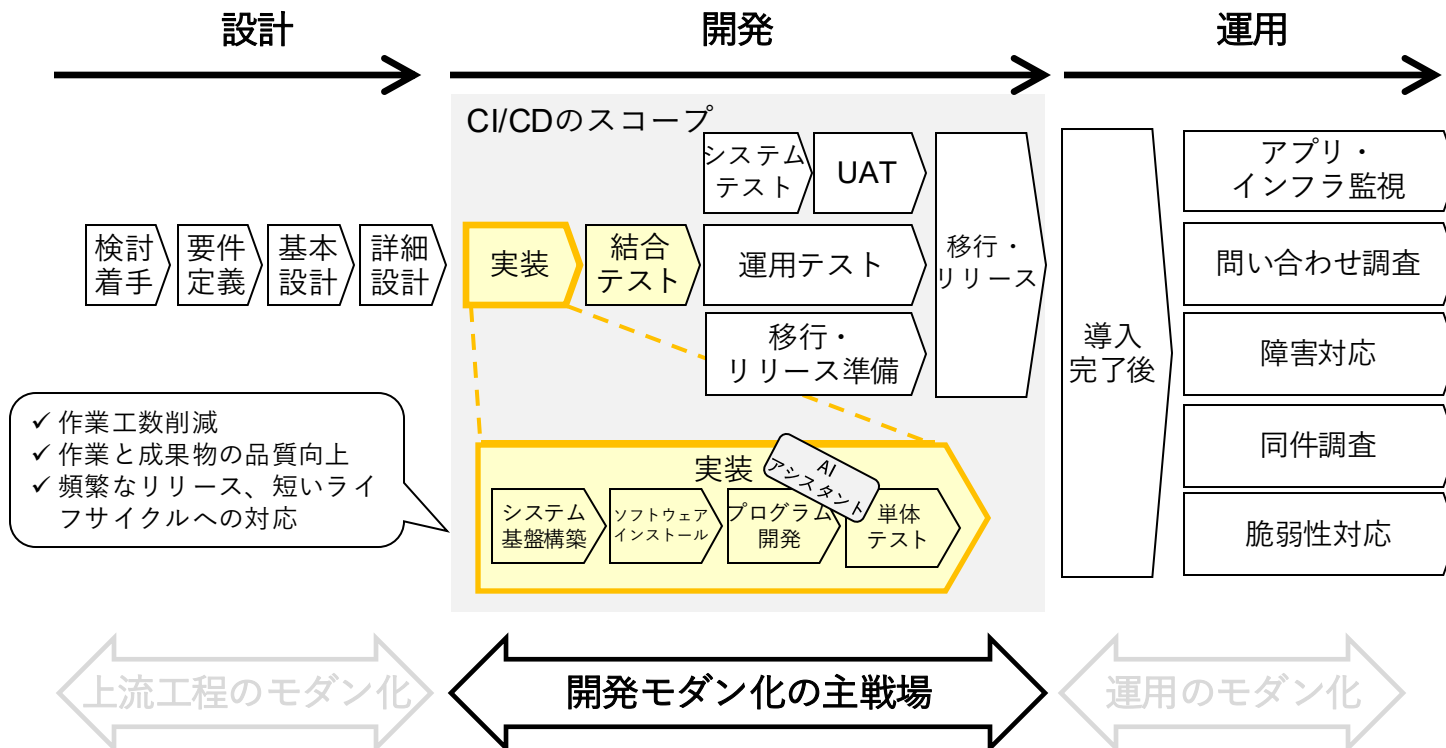
1. GitHub Actions 導入の 取り組みについて

- 開発者の生産性と品質の向上を目的に、開発ワークフローのモダン化の検討を開始
- コンプライアンス要件やセキュリティ要件の充足と、利便性および継続性の確保がポイント



どこをどうやってモダン化するのか？

- 開発工程のモダン化をCI/CDパイプラインの構築によって実現する
- 工数削減、品質向上、開発期間短縮を目標としている



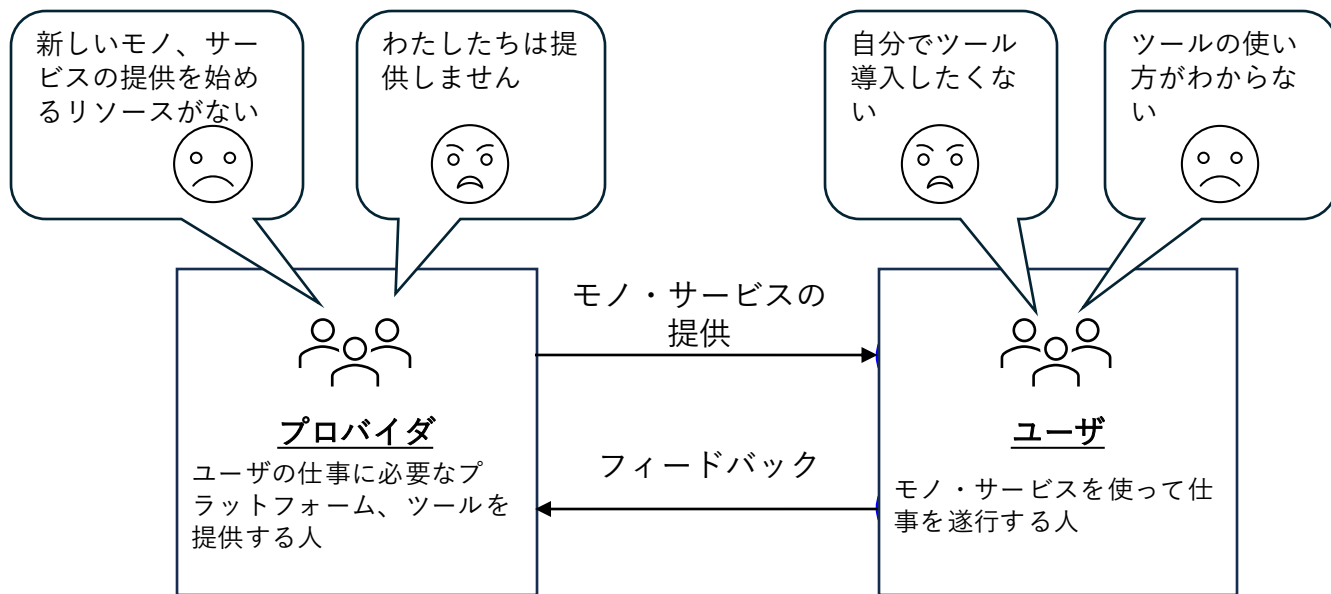
- ❑ 社内標準となるツールがない
- ❑ 他人任せか、自分のため



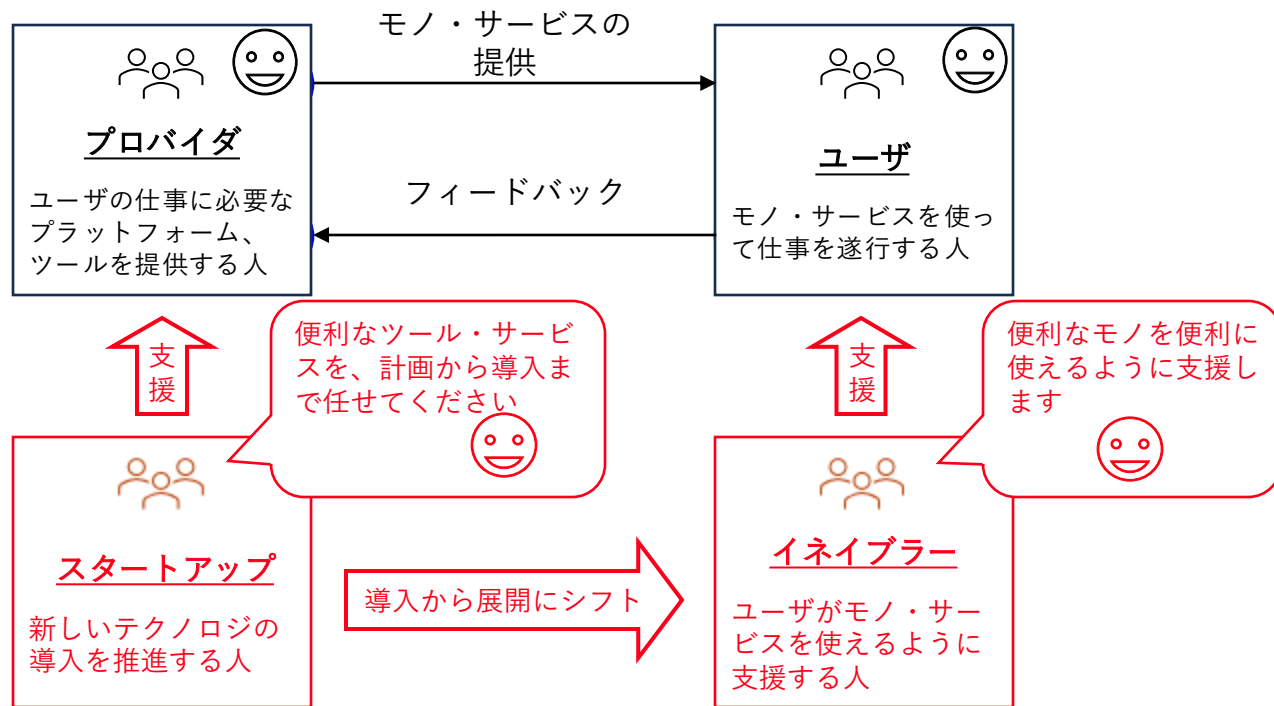
➤ 5製品で机上検証/実地検証を行い、GitHub Actions を採用した

比較観点	GitHub Actions	他社A	他社B	他社C	他社D
機能の充足度	○	○	○	○	○
拡張性	◎	○	△	○	△
ツールの使いやすさ	○	◎	×	△	△
管理のしやすさ	○	◎	△	△	◎
安全性	○	○	○	◎	○
コスト	○	△	○	◎	◎
社内事情	◎	○	○	○	×
総合評価	採用！	△	×	△	×

- ❑ GitHub は知名度が高く、インターネット上の情報が豊富で経験者も多いので受け入れやすい
- ❑ GitHub Copilot の利用がある場合、コストの観点で GitHub Enterprise Cloud が有利
- ❑ 社内のソースコードリポジトリの老朽化もあり、移行先としてリポジトリと統合されているソリューションに魅力



- ❑ 誰が提供するかで揉める。押し付け合いのような会話に終始して、一向に進まない
- ❑ 使いたいツールを自分のために入れるのはいいが、他人のためにはイヤという心理が働く
- ❑ マインドだけを問題にせず、「できない理由」を取り除いていくアプローチが必要



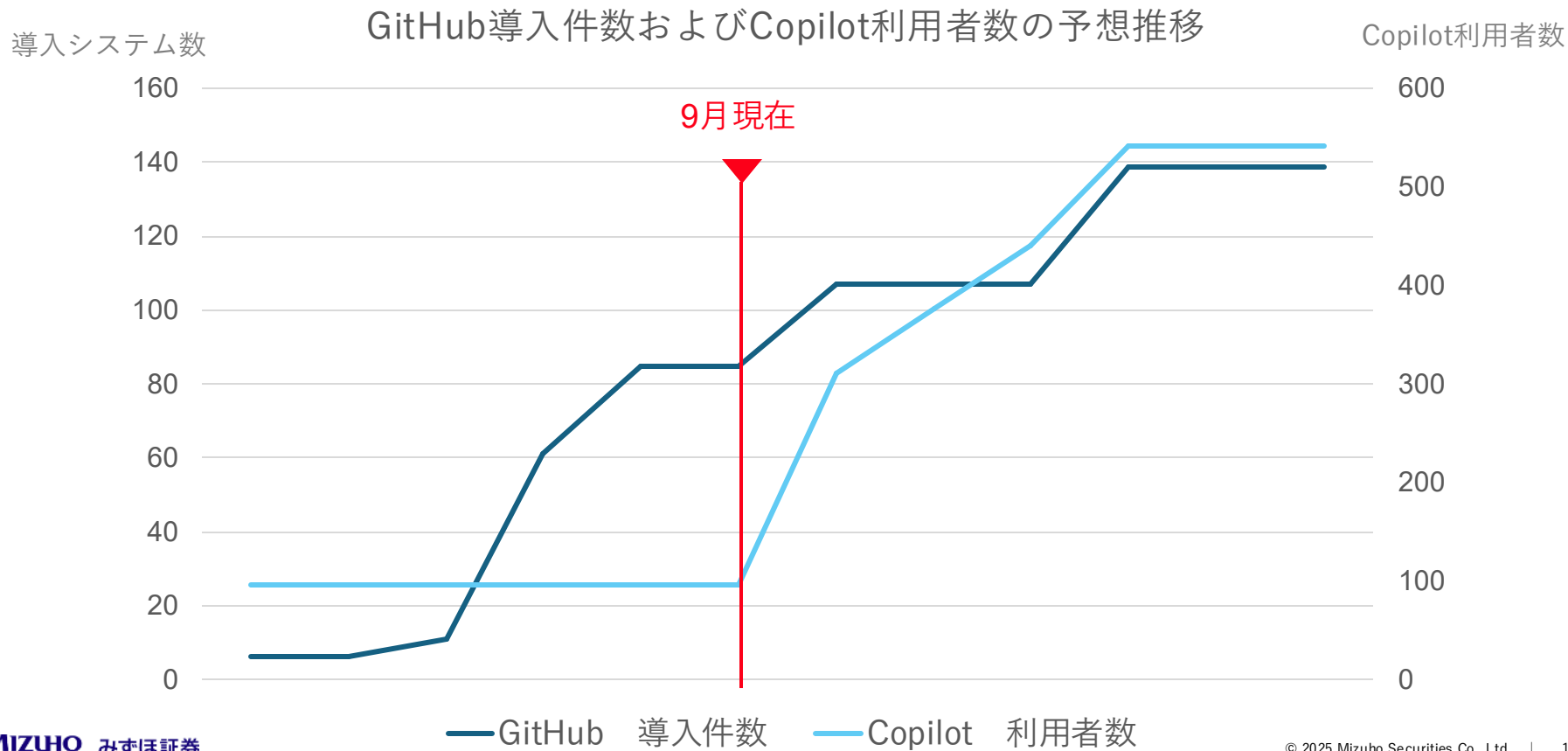
- ❑ 組織横断的に活動する推進体制があると、「できない」理由が一つ取り除かれる
- ❑ 異なるチームのユーザを繋げる社内コミュニティを作るなど啓蒙活動も有効と考える

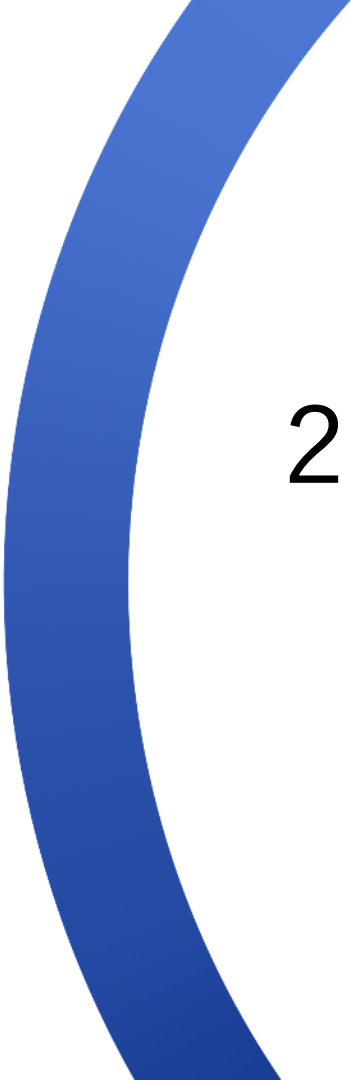
➤ 7月の本格展開開始以降、6部署、100システム、500ユーザがGitHubを利用中



※上記の数値は実績値に基づく概数

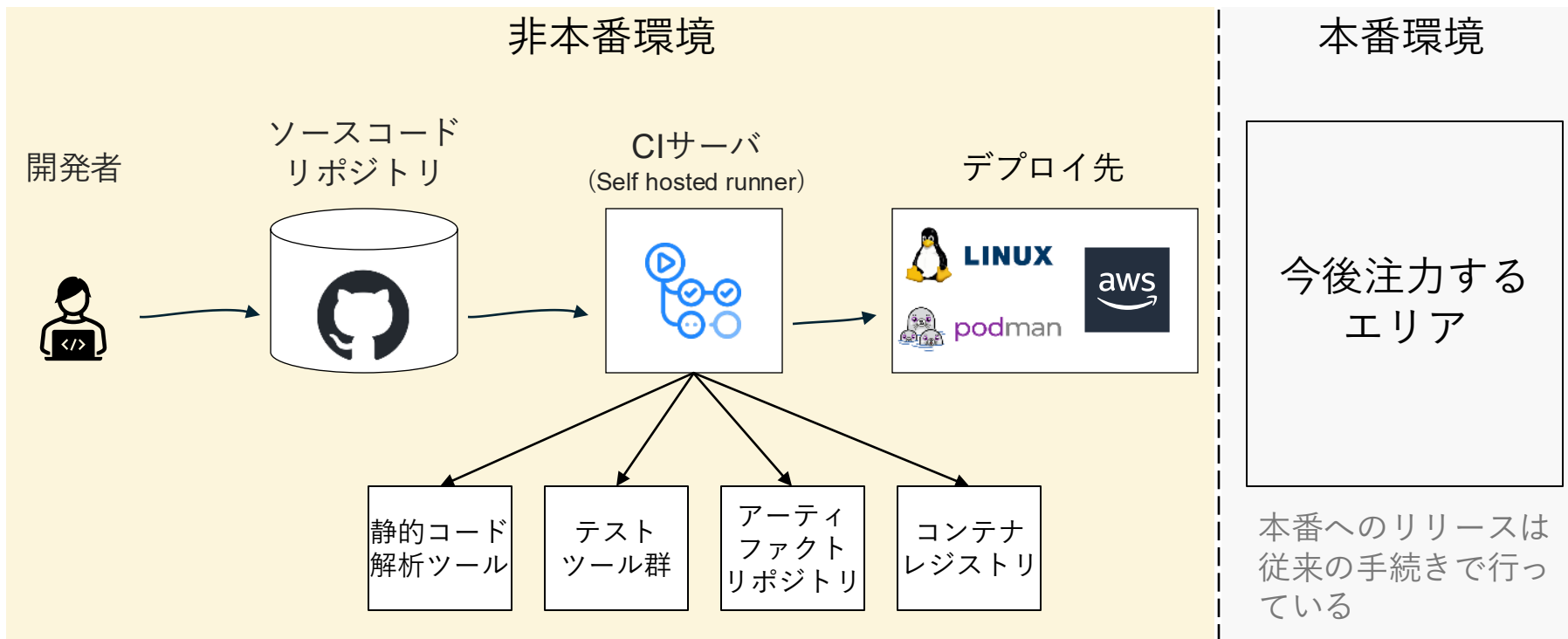
- 今年度末までに導入システム数は139、Copilot利用者は500名超となる見込み





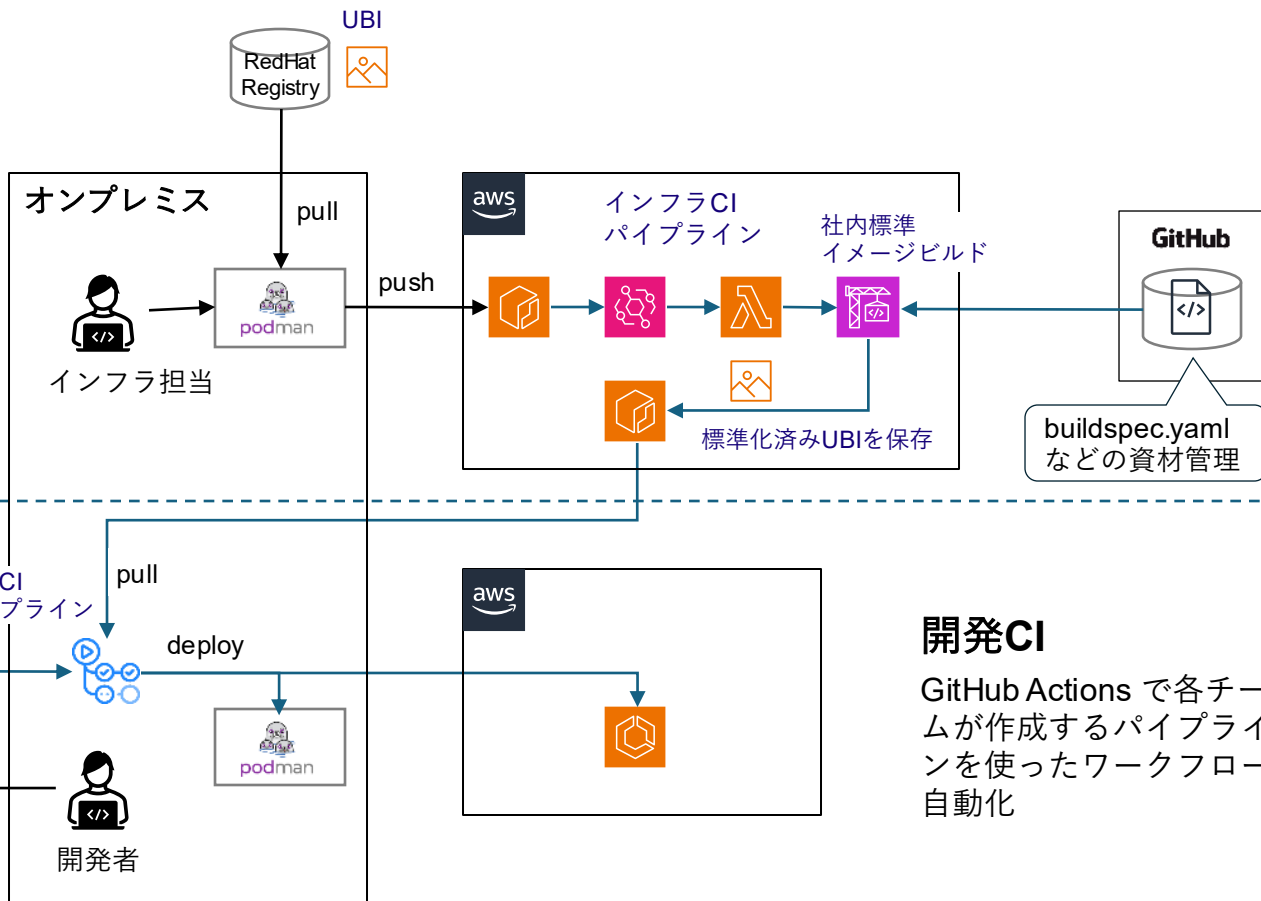
2. アーキテクチャと 利用イメージ

- まずは開発テスト環境における開発ワークフローのパイプライン化に利用を限定

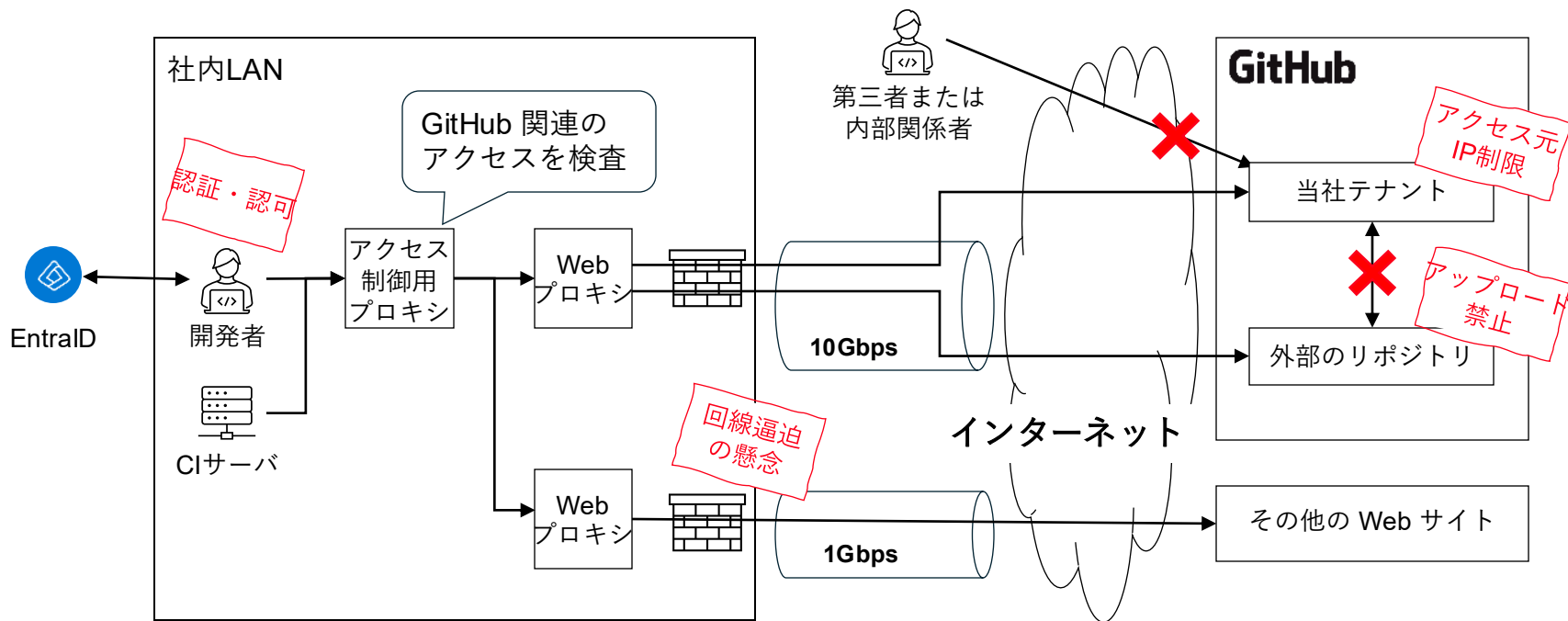


インフラCI

共通で利用するUBIイメージの定期更新をインフラCIとして自動化している



- GitHub 上の情報保護とアクセス管理を徹底
- 開発者の利便性と GRC 対策のバランスをとることも重要



ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO

